

# NHKジュニア野球教室



8月31日、長万部町の町制施行70年記念事業として、元プロ野球選手をお招きして、野球教室が開催されました。当日は、雨天により体育館での開催となりましたが、長万部ソウルズの児童をはじめ、近隣から多くの少年野球チームの児童、指導者、保護者などが参加しました。

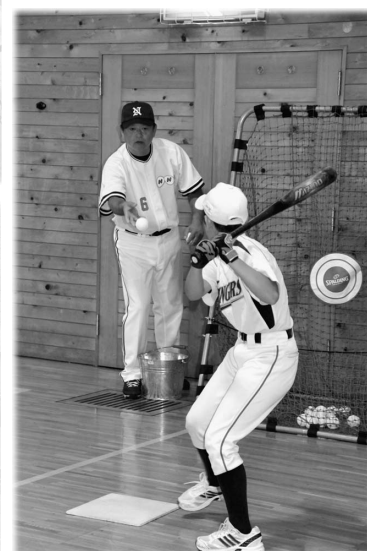
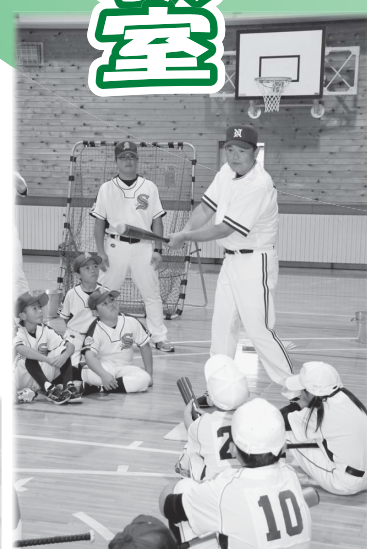
講師として来町された元プロ野球選手の小早川毅彦さんと与田剛さんが体育館に入ると両講師の体格の良さに児童は「おっきいなー！」とビックリしていました。

まず、ウォーミングアップをしてから走塁練習を行い、続いて、投手と野手に別れての練習を行いました。

投手は、与田さんがピッチングフォームを中心に指導を行い「こうするとフォームが安定するよ」と児童にわかりやすく丁寧に指導しました。

野手は、小早川さんが捕球・送球動作やバットイングの指導を行い、「いいフォームだね」と褒められると、児童もテンションアップで練習に取り組んでいました。

閉会式では、参加児童を代表して、長万部ソウルズ主将の白鳥太一くんから両講師にお礼の言葉を述べ、参加チームごとに記念の集合写真を撮り終えても、野球少年たちは、両講師に「サインお願いします！」と駆け寄っていました。



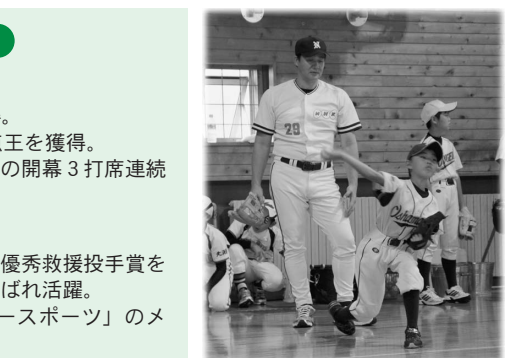
## 講師プロフィール（敬称略）

### 小早川 毅彦（こばやかわ たけひこ）

昭和59年広島東洋カープ入団。同年新人王獲得。  
昭和62年に広島4番打者として、93打点で打点王を獲得。  
ヤクルト移籍後の巨人との開幕戦で史上3人目の開幕3打席連続本塁打を放つなどして優勝に貢献。

### 与田 剛（よだ つよし）

平成2年に中日ドラゴンズに入団。新人王と最優秀救援投手賞を受賞。その剛速球と名前から「剛球投手」と呼ばれ活躍。  
平成21年から平成23年まで、NHK「サンデースポーツ」のメインキャスターとして活躍。



# 特集I

## ピックアップ！

### がんばる「おしゃまんべ」

#### 町民の活動 報告！



9月7日、町教委主催で第2回目となる「長万部ふるさと発見講座」が、北海道知事より認定を受けた北海道指導林家の丹野利春さん（NPO法人長万部町緑と樹を愛する会顧問）を講師に迎え、「太祖大峯の山毛櫟」入植後の仕事」と題して、講演と現地見学を行いました。

学習文化センターで行われた講演では、丹野さんが生まれた故郷の山梨県から仲間とともに、長万部町字大峯へ理想郷建設を夢見て入植した経緯や当時の仕事を振り返って説明しました。

講演終了後、マイクロバスで字大峯の「山毛櫟」の森へ移動しました。

二股ラジウム温泉の手前に掲げられた「太祖大峯の山毛

櫟」看板前で降車。そこから7〜8分程度、森林を進むと、正に威風堂々の巨木「太祖大峯の山毛櫟」が姿を現します。幹周4メートル36センチ、樹高27メートル、樹齢500年といわれ、圧倒的な存在感を放っています。

「雨雪に耐えて天に吼ゆ仰ぎ見れば威風堂々畏敬の念自ずから湧く」と書かれた看板のとおり、参加者らは、その巨木の魅力に引き込まれた様子でした。

丹野さんは、「自然は自ら生き、再生する力がある。私たちは自然の営みに「ちよつとお手伝い」をしているだけなんです。」と、笑顔で参加者に語っていました。



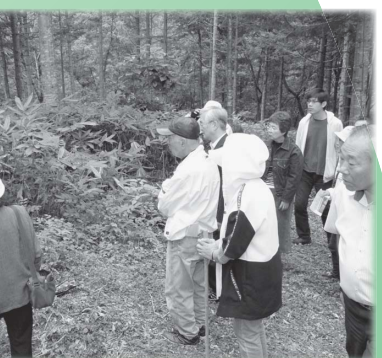
講演終了後、マイクロバスで字大峯の「山毛櫟」の森へ移動しました。

二股ラジウム温泉の手前に掲げられた「太祖大峯の山毛

櫟」看板前で降車。そこから7〜8分程度、森林を進むと、正に威風堂々の巨木「太祖大峯の山毛櫟」が姿を現します。幹周4メートル36センチ、樹高27メートル、樹齢500年といわれ、圧倒的な存在感を放っています。

「雨雪に耐えて天に吼ゆ仰ぎ見れば威風堂々畏敬の念自ずから湧く」と書かれた看板のとおり、参加者らは、その巨木の魅力に引き込まれた様子でした。

丹野さんは、「自然は自ら生き、再生する力がある。私たちは自然の営みに「ちよつとお手伝い」をしているだけなんです。」と、笑顔で参加者に語っていました。



## 第2回

### 長万部ふるさと発見講座

がんばる2 『太祖大峯の山毛櫟』